

- 年頭所感..... 2
- 海津名誉会長が「旭日中綬章」を受章..... 4
- オールJ U全国リレーオークション..... 5
- 表彰
 - 行政書士法改正(令和8年1月1日)..... 6
- 自民党 予算・税制等に関する政策懇談会
 - 令和7年度中古自動車販売士更新研修 Eラーニングのご案内..... 7
- J U提携損保代理店 自動車保険取り組み事例紹介【第1回 株式会社ホリエオート】..... 8
- ～月刊テントリ(展示車取引)通信～..... 11
- 健康寿命を意識した生き方について(オリエント総合研究所)..... 12
- 時論車論(日刊自動車新聞)..... 14
- 提携損保からのお知らせ(あいおいニッセイ同和損保)..... 16
- J U中部 検査員技能コンテストを開催
 - J U鹿児島 木場青年部会長のラスト青年部A A開催..... 18
- J U釧路 協会設立55周年・組合創立45周年大感謝祭を開催
 - J U岡山 クレジット サマーキャンペーン表彰式&オートムキャンペーン決起大会を開催..... 19
- 委員会の動き..... 20
- 中古車購入検討者ログデータ(カーセンサー)..... 22
- 11月のオークション結果..... 24
- 10月の都道府県別中古車登録・届出台数..... 25
- 11月の新車・中古車登録台数..... 26



Auction Calendar

オークション日程は変更されることがありますので、事務局に連絡し、確認の上ご参加ください。

札幌	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	011-872-5181	富山	8(木)	15(木)	22(木)	29(木)	076-434-0040
帯広	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	0155-37-2578	石川	14(水)	21(水)	28(水)		076-276-9381
釧路	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	0154-57-9111	福井	20(火)				0776-43-6163
函館	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	0138-49-2000	滋賀	開催無し				077-585-4136
室蘭	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	0143-43-7292	和歌山	開催無し				073-432-7133
旭川	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	0166-87-4500	京都	開催無し				075-681-8287
北見	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	0157-36-8115	奈良	10(土)	17(土)	24(土)	31(土)	0743-57-5678
青森	21(水)				0172-62-5515	大阪	開催無し				06-6943-8070
岩手	20(火)				019-605-7231	兵庫	開催無し				079-448-2211
秋田	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	018-839-6311	岡山	16(金)				086-281-3300
宮城	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	022-345-1881	鳥取	20(火)				0857-21-6881
山形	17(土)	31(土)			023-655-4611	島根	16(金)				0853-43-2255
福島	8(木)	15(木)	22(木)	29(木)	024-591-4821	広島	8(木)	15(木)	22(木)	29(木)	0826-72-7611
栃木	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	028-648-1181	山口	13(火)	20(火)	27(火)		0835-32-0220
新潟	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	025-362-6666	香川	開催無し				087-881-8831
群馬	8(木)	15(木)	22(木)	29(木)	027-350-1200	愛媛	開催無し				089-956-4060
茨城	7(水)	14(水)	21(水)	28(水)	0299-48-1833	徳島	開催無し				088-641-3399
千葉	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	043-257-5257	高知	開催無し				088-866-8400
埼玉	6(火)	13(火)	20(火)	27(火)	048-798-2111	福岡	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	092-944-1101
東京	12(月)	19(月)	26(月)		048-990-8611	佐賀	開催無し				0952-30-5625
神奈川	8(木)	15(木)	22(木)	29(木)	0465-37-3751	長崎	14(水)				0957-55-1133
山梨	10(土)	17(土)	24(土)	31(土)	055-279-2552	大分	14(水)	28(水)			097-535-8555
長野	13(火)	20(火)	27(火)		0263-58-3700	熊本	7(水)	14(水)	21(水)	28(水)	096-279-2700
静岡	6(火)	13(火)	20(火)	27(火)	054-263-6161	宮崎	15(木)	22(木)	29(木)		0985-82-3311
愛知	15(木)	22(木)	29(木)		0567-55-2221	鹿児島	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	0995-62-0757
岐阜	10(土)	17(土)	24(土)	31(土)	058-398-5102	沖縄	9(金)	16(金)	23(金)	30(金)	098-935-2525
三重	6(火)	13(火)	20(火)	27(火)	059-234-8996						

年頭所感



(一社)日本中古自動車販売協会連合会
日本中古自動車販売商工組合連合会
会長・理事長 **塚田 長志**

新年あけましておめでとうございます。

2026年の新春を迎えるにあたり、
謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては
新しい春を迎えて今年1年の
目標などを立てられていることと存じます。

旧年中はJU中販連の各種活動に
多大なるご理解とご支援をいただきまして
誠にありがとうございます。
この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

2025年の世界の経済状況は引き続き不安定な状況にありました。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が長引いている影響は大きく、世界的に物価上昇にあえぐ結果となっております。また、近年の世界情勢は米中対立やロシアのウクライナ侵攻、イスラエルとパレスチナの対立など国家間の対立が依然として続いております。国際秩序の維持や気候変動、災害問題への対応、エネルギー、食糧問題など解決しなければいけない問題が多数あり、国際協力が不可欠な場面も多く見受けられます。

自動車業界を振り返りますと、消費者の車離れや人口減少が進む中で、中古車市場の役割が改めて問い直される機会が増えたのではないのでしょうか。また、EV車の流通が少しずつ拡大し始めた年でもあります。若年層のクルマ所有意識の変化、オンライン商談やAI査定を含む販売手法の多様化といった環境変化も加速しております。

そのような業界環境変化の中で、会員の皆様には支払総額表示の徹底にご理解とご協力をいただいております。中古車の支払総額表示の義務化から2年以上が経過いたしました。お客様にも支払総額表示が浸透してきているのではないのでしょうか。しかしながら、依然としてプライスボードは規約通りに表示がされていたとしても、セールストークや実際の商談の場面でオプションを強制したり、メンテナンスパックをつけないと購入できなかったりなど、規約違反ではないかと疑われるような事案が見受けられるという声も聞こえてきています。そうした事案については自動車公正取引協議会と連絡を密にとり、厳正に対処していきます。また、2年以上経過して規約に対する意識の薄れなどで、知らず知らずのうちに規約違反を行ってしまっているケースもゼロではありません。改めて支払総額表示の意義や内容の一層の理解を深めるために、業界内への周知活動は引き続き行ってまいります。中古車業界がこれから先も健全に成長するためには、法令遵守はもちろんのこと、倫理的なビジネス運営が欠かせません。特に昨今、消費者保護の観点から中古車市場における透明性や信頼性が求められています。私たちは、品質保証の強化とともに、正確な車両情報の提供を徹底し、消費者が安心して中古車を購入できる環境を整える必要があります。そのためには販売店一社一社の協力が不可欠です。引き続き、中古車業界の健全な発展のためにご協力くださいますようお願いいたします。

さらに、今年には検査員技能コンテストの全国大会の実施が予定されております。昨年は東北・中部・九州ブロックにて検査員技能コンテストを開催しました。日々の検査業務で培った技術を余すことなく披露し、熱戦が繰り広げられました。また、コンテスト後の交流会では意見交換なども行っており、県を跨いで検査員同士で切磋琢磨できるいい機会にもなっております。皆様が安心してJ Uのオークション会場で取引ができるように、検査員の技術向上にも力を入れていきます。

また、税制に関しましては、税の公平性の観点から中古車を必要としている地方の方が不利となる税制は避けたいと考えております。私の地元長野でも中古車を生活の足としている方が大勢いらっしゃいます。そうした方々の移動の手段を奪うような税制は容認しかねるため、担税力に応じた税負担となるような税制となるように、関係各所と連携をしております。

J U中販連では、皆様方のあたたかいご支援とご協力により業界を牽引する役割を果たすべく各種事業に取り組んでおります。本年も消費者の皆様のご信頼を獲得できるようコンプライアンス教育を強化し、すべての会員企業が法令を遵守した公正な取引を行うことを推進してまいります。そのために中販連事業、中商連事業ともに切れ目なく事業を展開してまいります。

結びに、2026年は干支の「午」の年です。午年の瑞兆にあやかり、中古車流通のさらなる健全化と信頼性向上に、一層力を尽くしてまいります。安心・安全な車社会の発展に貢献すべく、会員の皆さまとともに着実な歩みを進めてまいります。本年が皆さまにとりまして、力強い飛躍の一年となりますよう心より祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

海津名誉会長が「旭日中綬章」を受章

令和7年11月3日付けで2025年秋の叙勲受章者が発令され、J U中販連名誉会長の海津博氏が旭日中綬章を受章しました。

旭日中綬章は、平成14年受章のJ U中販連第3代会長の難波慶年氏、平成16年受章のJ U中販連4代会長の小川逸樹氏、平成25年受章のJ U中販連5代会長の澤田稔氏に次いで中販連では4人目の受章となります。

平成29年にJ U中販連の会長に就任以来、J U適正販売店認定制度の推進や、自動車公正競争規約の支払総額表示義務化等、消費者の保護と公正な流通の促進、そして業界の健全な発展に努めていたことが高く評価されました。

叙勲の伝達式は、11月21日、東京都千代田区にあるホテルニューオータニの芙蓉の間において開催され、海津名誉会長が出席しました。伝達式終了後は、皇居の豊明殿において天皇陛下の拝謁を賜りました。

海津博・J U中販連名誉会長のコメント

このたび叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。今回の受章はひとえに中古自動車業界はじめ、関係各位の多年にわたる温かいご指導、ご鞭撻の賜物であり、心より感謝し御礼申し上げます。

これまで、中古自動車販売士制度を基礎としたJU適正販売店認定制度を中心として、消費者保護と公正な流通の促進、そして業界の健全な発展に努めてまいりました。

この受章を励みに今後もさらに精進し、微力ではございますが社会に貢献できますよう努力を重ねてまいります。



海津名誉会長



全体写真

オールJU全国リレーオークション

令和7年9月26日～11月28日の期間、全国53商組が取り組んだ「第21回オールJU全国リレーオークション」の結果が確定しました。出品台数は47,497台(目標達成率は121.6%、前年対比95.2%)、成約台数においては31,008台(前年対比95.6%)、成約率65.3% (前年対比0.2ポイント増)と、目標を大幅に上回る結果となりました。JUショップの皆様積極的にご参加いただいたことに感謝を申し上げますとともに、今後ともJUオークションへの変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

令和7年度(第21回)オールJU全国リレーオークション 最終実績

	開催日	前年度 出品実績	目標	本年度実績										
				出品 台数	前年 対比	目標 達成率	成約 台数	前年 対比	成約率	前年 対比	成約金額 (千円)	前年 対比	平均単価 (千円)	前年対比
札幌	9月26日	1,685	1,000	1,828	108.5%	182.8%	1,562	115.3%	85.4%	5.0	604,494	129.7%	387	43
帯広	11月28日	355	210	328	92.4%	156.2%	173	113.8%	52.7%	9.9	79,195	140.7%	458	87
釧路	10月24日	312	210	302	96.8%	143.8%	168	107.7%	55.6%	5.6	119,566	94.3%	712	-101
函館	10月10日	338	250	286	84.6%	114.4%	168	103.1%	58.7%	10.5	86,157	107.3%	513	20
室蘭	10月24日	220	150	215	97.7%	143.3%	107	85.6%	49.8%	-7.1	35,465	107.4%	331	67
旭川	11月14日	206	150	200	97.1%	133.3%	127	110.4%	63.5%	7.7	52,322	127.1%	412	54
北見	11月7日	151	130	159	105.3%	122.3%	84	103.7%	52.8%	-0.8	44,250	79.3%	527	-162
北海道		3,267	2,100	3,318	101.6%	158.0%	2,389	111.3%	72.0%	6.3	1,021,449	118.8%	428	27
青森	11月4日	314	250	410	130.6%	164.0%	302	121.3%	73.7%	-5.6	89,907	199.7%	298	117
岩手	10月14日	768	550	607	79.0%	110.4%	446	72.8%	73.5%	-6.3	170,000	82.0%	381	43
秋田	11月14日	489	300	413	84.5%	137.7%	358	88.0%	86.7%	3.5	62,820	119.6%	175	46
宮城	10月10日	1,673	1,600	1,641	98.1%	102.6%	1,259	94.4%	76.7%	-3.0	425,416	98.5%	338	14
山形	10月18日	523	450	552	105.5%	122.7%	426	121.0%	77.2%	9.9	121,001	150.4%	284	56
福島	10月23日	2,331	1,800	2,429	104.2%	134.9%	1,515	109.7%	62.4%	3.1	522,772	107.5%	345	-7
東北		6,098	4,950	6,052	99.2%	122.3%	4,306	99.3%	71.2%	0.0	1,391,916	106.8%	323	23
栃木	11月7日	1,389	1,200	1,482	106.7%	123.5%	611	93.6%	41.2%	-5.8	205,052	129.1%	336	92
新潟	11月21日	1,056	900	1,036	98.1%	115.1%	794	113.3%	76.6%	10.3	251,750	125.1%	317	30
群馬	11月20日	1,730	1,300	1,427	82.5%	109.8%	991	83.8%	69.4%	1.1	387,481	103.0%	391	73
茨城	11月12日	823	800	805	97.8%	100.6%	511	90.4%	63.5%	-5.2	194,691	83.4%	381	-32
千葉	11月14日	2,203	1,700	2,267	102.9%	133.4%	1,691	111.3%	74.6%	5.6	936,814	124.6%	554	59
埼玉	11月18日	2,316	1,200	1,805	77.9%	150.4%	1,226	82.6%	67.9%	3.8	641,198	86.9%	523	26
東京	11月24日	1,245	1,200	940	75.5%	78.3%	466	65.7%	49.6%	-7.4	228,806	87.2%	491	121
神奈川	11月27日	983	600	449	45.7%	74.8%	312	42.4%	69.5%	-5.4	126,898	40.6%	407	-18
山梨	11月15日	120	120	92	76.7%	76.7%	41	97.6%	44.6%	9.6	14,462	146.4%	353	118
長野	11月25日	524	400	553	105.5%	138.3%	162	114.9%	29.3%	2.4	47,598	112.6%	294	-6
関東甲信越		12,389	9,420	10,856	87.6%	115.2%	6,805	88.0%	62.7%	0.3	3,034,750	98.3%	446	47
静岡	10月21日	1,363	1,100	1,242	91.1%	112.9%	875	89.9%	70.5%	-0.9	230,612	99.1%	264	24
愛知	11月6日	4,443	3,800	4,392	98.9%	115.6%	3,544	102.9%	80.7%	3.2	1,882,396	106.7%	531	19
岐阜	10月18日	6,316	5,100	6,103	96.6%	119.7%	3,301	98.6%	54.1%	1.1	2,291,260	121.4%	694	130
三重	10月7日	1,341	1,100	1,229	91.6%	111.7%	591	80.1%	48.1%	-6.9	344,307	108.2%	583	152
富山	10月2日	857	650	850	99.2%	130.8%	522	89.5%	61.4%	-6.6	190,060	98.2%	364	32
石川	10月8日	664	600	684	103.0%	114.0%	468	94.7%	68.4%	-6.0	211,068	108.7%	451	58
福井	10月28日	604	400	517	85.6%	129.3%	350	87.1%	67.7%	1.1	97,292	102.7%	278	42
中部		15,588	12,750	15,017	96.3%	117.8%	9,651	96.7%	64.3%	0.2	5,246,995	112.0%	544	74
奈良	10月11日	466	500	485	104.1%	97.0%	280	94.9%	57.7%	-5.6	120,394	113.3%	430	70
滋賀・京都協賛														
奈良	11月8日	558	500	541	97.0%	108.2%	302	97.1%	55.8%	0.1	124,521	121.7%	412	83
和歌山・大阪・兵庫協賛														
近畿		1,024	1,000	1,026	100.2%	102.6%	582	96.0%	56.7%	-2.5	244,915	117.4%	421	77
岡山	10月17日	598	400	613	102.5%	153.3%	345	92.2%	56.3%	-6.3	204,224	108.6%	592	89
鳥取	11月25日	213	200	298	139.9%	149.0%	253	137.5%	84.9%	-1.5	70,410	155.1%	278	32
鳥根	10月3日	330	280	296	89.7%	105.7%	242	103.4%	81.8%	10.8	81,570	107.2%	337	12
広島	10月23日	2,134	2,000	2,189	102.6%	109.5%	1,391	104.6%	63.5%	1.2	532,583	105.2%	383	2
山口	11月11日	701	450	638	91.0%	141.8%	330	90.2%	51.7%	-0.5	183,617	84.0%	556	-41
高知	11月18日	413	270	390	94.4%	144.4%	177	79.0%	45.4%	-8.9	60,115	108.4%	340	92
香川・愛媛・徳島協賛														
中四国		4,389	3,600	4,424	100.8%	122.9%	2,738	101.0%	61.9%	0.1	1,132,519	103.9%	414	12
福岡	10月17日	2,556	2,000	2,509	98.2%	125.5%	1,410	86.3%	56.2%	-7.7	366,965	100.8%	260	37
佐賀	10月30日	551	300	497	90.2%	165.7%	341	83.6%	68.6%	-5.4	63,843	88.3%	187	10
長崎	10月8日	582	400	551	94.7%	137.8%	382	119.4%	69.3%	14.3	65,744	114.1%	172	-8
大分	10月22日	750	500	763	101.7%	152.6%	650	101.4%	85.2%	-0.3	94,530	109.7%	145	11
熊本	11月19日	677	500	581	85.8%	116.2%	385	85.6%	66.3%	-0.2	88,182	134.4%	229	83
宮崎	10月16日	331	250	345	104.2%	138.0%	305	109.3%	88.4%	4.1	63,582	113.7%	208	8
鹿児島	11月21日	1,158	900	1,127	97.3%	125.2%	766	94.5%	68.0%	-2.1	181,482	118.1%	237	47
沖縄	11月28日	516	400	431	83.5%	107.8%	298	78.6%	69.1%	-4.3	56,874	82.3%	191	8
九州		7,121	5,250	6,804	95.5%	129.6%	4,537	92.2%	66.7%	-2.4	981,202	106.1%	216	28
全国		49,876	39,070	47,497	95.2%	121.6%	31,008	95.6%	65.3%	0.2	13,053,746	107.4%	421	46

表

彰

(順不同・敬称略)

国土交通大臣表彰



芝 幸宏
(J U 鹿児島会員/有芝自動車整備工場 代表取締役)

四国運輸局長表彰



岡 隆夫
(J U 香川会長/有向陽自販 代表取締役)



岡 宏治
(J U 香川副会長/株岡モータース 代表取締役)



溝内 久司
(J U 香川副会長/有エイチアイオート 代表取締役)

【行政書士法改正(令和8年1月1日)】

改正前の行政書士法第19条第1項(業務の制限)において、「行政書士又は行政書士法人でない者は、業として第一条の二に規定する業務を行うことができない」と規定されていますが、改正法においては、本規定に「他人の依頼を受けいかなる名目によるかを問わず報酬を得て」の文言が追加される

「行政書士法違反となる事例等」：国交省ホームページ掲載

【自動車販売とあわせて実施する登録代行に係る手数料の報酬性について】

自動車販売会社Aが、販売員甲をして登録申請書及び車庫証明申請書の作成並びに添付書類を収集及び申請書の提出の代行をさせ、法定費用をのぞいた報酬を得ている場合において、以下の場合、行政書士法第1条の2第1項の「報酬を得て・・・書類の作成」に該当し、同法19条第1項に違反するの否。

●登録申請書及び車庫証明申請書の作成は、顧客自身が行い、自動車販売会社は、甲をして添付書類の収集及び申請書の提出の一連の手続を代行させ、これら手続代行の対価として法定費用を除いた報酬を得ている場合

自動車販売会社Aが、申請書の作成も添付書類及びその収集に関する書類の作成もしていないのであれば、法第1条の2第1項の報酬に該当しない。

自民党 予算・税制等に関する政策懇談会



新藤義孝
組織運動本部長

永岡桂子
団体総局長

小林史明
経済産業部会長

平沼正二郎
商工・中小企業
関係団体委員長

11月13日(木)、自民党本部において「自民党 予算・税制等に関する政策懇談会」が開催され、自民党の国会議員の先生方が出席、自動車関連団体の幹部が令和8年度の税制改正について要望しました。

JU中販連からは武藤専務・永井常務が出席、「経年車に対する課税重課措置の廃止要望」として、「燃費値を考慮しないで、初度登録から13年を超える全ての自動車の税率を重課するという論法は全く根拠がない。経済的理由により、新車への買い替えができない自動車ユーザーに対して、税率を重課する制度は問題があり、また、経済的弱者にとって過酷な制度である」と出席された自民党の先生方に訴えました。



令和7年度 中古自動車販売士 更新研修

Eラーニングのご案内

令和7年度中古自動車販売士更新研修を令和8年1月から3月に開催します。

更新対象者、更新手順、更新申請料金など詳細な内容につきましては下記概要をご覧ください、更新対象者におかれましては、実施期間内に更新研修を受講いただきますようよろしくお願いいたします。

Eラーニング更新研修概要

更新対象者	①2026年3月31日までの有効期限の販売士 ②有効期限切れの販売士 ※案内ハガキは有効期限が2024年3月31日以降の方に限定して送付します
更新手順	①本部より販売士個人宛の更新案内ハガキを在籍店舗に一括送付 ②案内ハガキに記載されたWEBサイトにアクセス ③ハガキに記載されたID・パスワードを入力してログイン ④インターネット上で更新研修を受講 ⑤修了次第、更新申請画面へ進み、手続きを行う ⑥修了後、販売士WEBサイトの登録情報が更新される ⑦後日、各JU協会より新しい登録証(カード)が配布される
更新研修内容	自動車公正競争規約・注文書・契約・税金関連等についての学習
更新申請料金	3,000円
実施期間	2026年1月9日～2026年3月31日

「改正保険業法」が成立し、2025年6月6日に公布されました。2026年6月頃までに施行される見込みとなっています。保険金の不正請求や保険料調整行為などの再発防止を防ぐ目的で、すべての保険代理店に対応が迫られます。全3回の連載を通じ、コンプライアンスを守り、保険業務を強化しているJU会員をご紹介します。

株式会社ホリエオート

2025年で創業70周年を迎えたホリエオート(堀江知弘社長、茨城県古河市、JU茨城会員)は、創業時から「正直販売」をモットーに掲げ、車販、保険ともにコンプライアンスを重視した経営を行っています。特に保険については「自立」を意識して取り組みます。今回は、堀江社長と堀江由紀副社長、本店の尾崎哲也店長、保険担当の塚田絵里さんに話を聞きました。

— 保険販売を強化している理由を教えてください

堀江社長 「保険は安定的な収益を確保することができる、収益の大きな柱であることは今も昔も変わりありません。コロナ禍以降、車両の販売粗利が下がっています。保険をより一層強化することで、収益を確保していくことが狙いです。保険提案をきっかけにお客さまとの接点を持つという意味もあります」

— お客さまにどのような提案をしていますか

尾崎店長 「先代の会長が起業して70年が経ちます。ホリエオート自体は1989年に分社化した会社ですが、いずれにしても、このエリアで車の整備と販売で地元のお客さまに支えられてきました。当社は、創業時から支えていただいたお客さまへ安心安全を提供したいという思いで取り組んでいます。テーマは『ワンストップサービス』です。保証と併せて保険にも加入してもらうことで、いざというときにお手伝いができるように、車両購入時にはセットで保険をお勧めしています」



堀江社長(右)と保険担当の塚田さん

— モットーは「正直販売」

尾崎店長 「当社で販売する車両は、オークションの評価点や修復歴はもちろん、記録にない小さな傷なども隠さず販売します。車販で信頼を構築することが、保険販売にもプラスになると考えています。また、正直販売はコンプライアンスを遵守することです。これは、保険販売にもつながっています」

— 保険強化に向けた取り組みを教えてください

尾崎店長 「堀江副社長をトップに、保険責任者の塚田さんや店長、保険の有資格者などが参加する『保険会議』を月1回実施しています。会議では、好事例共有のほか、当社主導の研修も行います。一方で、自分たちだけではわからない部分もあるので、損保や自動車業界紙の情報などを参考に知識を深めています。会議の内容は自店へ持ち帰って社員に伝えてもらうことで全社に浸透するようにしています。また、社内SNSとしてLINEワークスを導入し、会議を待たずにリアルタイムで情報共有ができるようにしています」

— 「自立」を意識して取り組む

尾崎店長 「何でも保険会社に代わりにやってもらうのではなく、自分たちでやるという感覚が根付いています。特に、保険業法300条関連は、ポイントを押さえて繰り返し研修を行い、知識を身に付けてもらうようにしています。また、保険会社がキャッシュレスに舵を切った時から、



ショールーム内には保険プランを紹介するブースを設置する

当社も保険についてはほぼキャッシュレスに切り替えています。金銭のやり取りについても、透明化をさせることでコンプライアンスを高めています」



ショールームを入ってすぐに保険提案の看板を置く

— フロントから「保険のスペシャリスト」になった塚田さんが^{とて}岩になっているそうですね
 尾崎店長 「すべての書類が塚田さんの目を通して申請されます。日々の学びを生かして、常に正しい内容で手続きができていないか、誤りがないかを確認する岩としての役割を果たしてくれています」

塚田さん 「整備のフロントとして入社し、現在は保険担当として勤務しています。元々、当社は保険について各自が一定の理解をすることになっています。フロント時代も保険を扱うことがありましたが、より深く携わることになりました。そのため、営業の方の気持ちもわかります。保険の責任者として、書類の手続きやその後の流れを理解する必要がありますので、店舗から問い合わせがあったら間違いなく回答できるように準備しようと心がけています。保険は毎年変更があるので、都度、学びながら取り組んでいます」

— 今後の抱負を教えてください

堀江副社長 「より一層お客さまに寄り添いながら、自分たちのおすすめではなく、お客さまのニーズに合った内容を提案できるようにしていきたいです。そのために、正しい知識を身に付けることができるよう日々学んでいかなければならないと考えています」

尾崎店長 「研修は年間計画を立てて、社内の誰か講師になって改正保険業法も含めて対応できていると思うので、継続的に取り組んでいきたいです。ただ、研修とツールや情報が不足している

部分はあるので、損保が提供するeラーニングなどを活用していきたいと考えています。当社は、保険部の責任者だけが受講するのではなく、全社員に課しています。今後も全社的に意識付けを強化していきたいです」



おすすめ商品がわかりやすいように工夫する



独自のDM「トータルカーライフニュース」で保険について紹介する

～月刊テントリ(展示車取引)通信～

◆JUテントリは、JU中販連とJUコーポレーションの共同事業です◆

JUテントリ 展示車取引

「**軽自動車検査証 返納確認書**」の発行が終了しました！



令和7年12月1日より

新しい手続きに変わりました



(一社)全国軽自動車協会連合会は、一時使用中止返納の際に発行されていた「**軽自動車検査証 返納確認書**(以下、**確認書**)」の発行を令和7年11月28日をもって終了しました。今後は、返納された軽自動車の必要提出書類が変更になりますのでご注意ください。



1 「**譲渡証明書**」の提出が必要になります

令和7年12月1日以降の届出手続きには、発行終了した「**確認書**」の代わりに「**譲渡証明書**」を使用することになります(普通車と同一のもの)。

つきましては、返納された軽自動車の譲渡(テントリ成約等)を行う際に、「譲渡証明書」の提出が必要になります。

※**軽(返納)提出書類**：①**返納証明書**(緑色) ②**譲渡証明書** ③**R券**



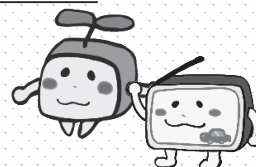
2 発行済の「**確認書**」はそのまま使用可能です

すでに発行済の「**確認書**」は、今後も有効な「**譲渡証明書**」としてそのまま手続きに使用する事が可能です。

・テントリ出品・ご利用に関するお問い合わせ先： **0120-094-418**
営業時間：9時～17時(月～土)

ガイダンス

①：利用方法・新規入会 ②：商談 ③：書類・名変・経理
④：クレーム ⑤：搬出・輸送 ⑥その他



今月のテーマ

健康寿命を意識した生き方について

新年、あけましておめでとうございます。

本年も何卒よろしく願いいたします。

昨年は、春先の米国関税増税宣言に始まり、日本でもインフレが進みつつ、10月に女性として初めての首相が誕生し、株価は大きく上下動した年でした。さて、今年はどのような年になるのでしょうか。

新たな年を迎えるにあたり、今年から健康のために何か始めようと思われている方も多いのではないのでしょうか。日本は世界で最も長寿な国として有名ですが、健康寿命との差を意識したことはありますか？以下の表は男女別に主要国の平均寿命と健康寿命及びその差を示したのになります。（主にWHOやOECDの2022年～2023年の統計データを用い、分かり易く小数点以下を四捨五入しております）

国	女性			男性		
	寿命	健康年齢	その差	寿命	健康年齢	その差
日本	87歳	75歳	12歳	81歳	73歳	8歳
スイス	85歳	75歳	10歳	81歳	73歳	8歳
韓国	87歳	75歳	12歳	81歳	72歳	9歳
スウェーデン	85歳	75歳	10歳	81歳	73歳	8歳
米国	79歳	69歳	10歳	74歳	66歳	8歳
英国	79歳	65歳	14歳	80歳	63歳	17歳
ドイツ	83歳	68歳	15歳	79歳	66歳	13歳
フランス	85歳	68歳	17歳	79歳	66歳	13歳
中国	81歳	70歳	11歳	75歳	68歳	7歳
南スーダン	56歳	50歳	6歳	54歳	48歳	6歳
ソマリア	57歳	50歳	7歳	55歳	49歳	6歳

ここで言う、健康寿命とは、WHOが定める定義で、「介護を必要とせず、日常生活を自立して

送れる期間の平均年齢」です。まずは、平均寿命ですが、日本は男女共にトップです（四捨五入の関係で同じ歳の国があります）。全体感では先進国が比較的長く、開発途上国では短い傾向にあります。これは、医療体制、衛生環境の悪さ、感染症の流行、栄養不良、紛争・政情不安などが原因となります。次に健康寿命ですが、日本の女性は75歳で寿命との差は12歳あります。男性は73歳で同じくその差は8歳になります。先進国ではちょうど中間あたりに位置しています。女性ではフランス、男性では英国が一番その差が大きく、いずれも17年間、介護が必要な状態で過ごすということになります。一方、アフリカ大陸の国では、寿命と健康寿命の差が少ない傾向にあります。当然のことながら、医療体制に依るところが大きいものと想定されます。日本では、平均寿命だけがクローズアップされがちですが、私たちが最も重視すべきなのは、やはり健康寿命ではないのでしょうか。ウェルビーイングに対する考え方や価値観は人それぞれ異なりますが、健康な状態で生活を送ることを望まない人はいないでしょう。それでは、今後の日本の健康寿命はどのように変化していくのでしょうか？

日本では、厚生労働省が「健康日本21（第二次）」の目標値として、2030年の健康寿命を女性77歳、男性74歳としています。国として予防医療・介護予防・健康づくりの推進を強化していること

に加え、医療技術の進歩(がんや心臓病、脳卒中などの主要疾患の予防・治療技術の進化、認知症予防やロボットリハビリ、遠隔医療などの新しい技術の導入など)や個人の健康意識の高まり(ウォーキングなどの運動、食事改善、禁煙、減塩など)が健康寿命を結果的に高めるものと想定されています。健康寿命が伸びるのは大変良いことですが、一方、日本では少子高齢化に伴い、年金問題や医療制度問題を抱えています。これらの問題は平均寿命や健康寿命と切っても切り離せない関係性にあります。当たり前ですが、高齢者が増加すると、医療費(75歳以上は自己負担1割)は増加しますし、全体の年金受給額も増加します。一方で、少子化の影響で働く世代が減ることにより、上記の増加額を補う術が無くなるということになります。それでは、この問題はどのように解決できるのでしょうか？この問題は既に様々な場で議論されております。一つ目は、年金受給年齢の段階的引き上げです。二つ目は、年金受給額の調整です。所謂、収入・資産が多い方には、年金は少なくというものです。三つ目は高齢者でも長く働ける環境を整備するということです。三つ目は先に述べた健康寿命とも密接に関係します。更に積立金の運用効率化や国債、他の税収から賄うなども考えられますが、あまり現実感は無いと言っているのではないのでしょうか？皆さんは何歳くらいまで働きたいと思われますか？これは、個人が置かれている環境や考え方により、様々であり、答えがあるわけではありません。ある方は、身体

が健康なうちは、ずっと働いていたい、ある方は、可能な限り早く仕事をやめて、健康な間に今まで出来なかったことにチャレンジし、その後の人生を満喫したいと思う方もいるかもしれません。2020年に出版された「Die with Zero」という本をお読みになった方もいるのではないのでしょうか。この本の筆者であるビル・パーキンス氏は、この本の中で人生におけるお金の使い方と人生の満足度を最大化する方法について語っています。主なメッセージとしては、「人生の終わりにお金を残すのではなく、全て使い切るべき」という非常に大胆なものですが、その根底にある考えは、以下のような要約になります。

- ①お金を貯める目的は幸せを得ること
- ②最適、有効なタイミングでお金を使う
- ③後悔を減らすためにお金を使う計画を立てる
- ④物ではなく、思い出にお金を使う
- ⑤「時間の大切さ」を理解する
- ⑥適切な貯蓄とリスク管理
- ⑦バケツリスト(死ぬ前にやっておきたいリスト)を早期に作成する

日本でも老後2,000万円問題があり、悩みは尽きないところですが、先に述べた健康寿命といつまで働くのかという問いに対する答えを導き出すうえで、参考になる本だと思います。今一度、今後の人生をどのように生きるか考えてみては如何でしょうか。

日刊自動車新聞社

記者 村田 浩子

トヨタがバリューチェーンを強化、狙いは？

トヨタ自動車は、国内でバリューチェーン事業を強化する取り組みを広げている。コネクテッドサービスの料金体系を見直し、継続的に収益を上げられる仕組みを目指す。中古車販売ではこれまでカバーしていなかった安価な価格帯の商品も小売りしていく方針を示している。背景には、将来的に国内の新車需要の先細りが見込まれる中、従来の売り切り型のビジネスモデルでは国内事業の維持が難しくなるとの懸念がある。

同社は2000年代初頭に販売チャンネルの再編を含む国内事業の構造改革に乗り出した。その中で、中古車や整備、保険、金融といった新車以外のビジネスをバリューチェーンと総称し、サービスを拡充してきた。それまでは新車の販売台数に重きを置いた経営戦略を描く販売会社も多かった。しかし、トヨタは新車市場が縮小に向かうと読み、新車だけに頼らない収益構造に切り替えていくことで、持続的な成長を目指した。同じ危機感を持つ販社も、積極的に取り入れてきたことで強固な経営基盤の構築につながった。

そのバリューチェーンをトヨタが今、改めて強化しようとしている。背景には国内市場の縮小が一段と進むとみられる中、開発費の上昇や人件費の高騰など業界を取り巻く環境悪化が加速していることがある。このままでは、メーカーと販売店がともに収益を減らすリスクが高まる。特に、販売店の収益についてトヨタ関係者は「何もしなければ30年に、現在の3分の1程度に減る可能性がある」と指摘するなど、てこ入れが課題となっていた。

このため、従来よりも踏み込んで、新たな収益源を確保していく。例えば、中古車部門では、一定の品質を満たした商品を対象にしている「認定中古車制度」を見直す。より安価な価格帯の車両も認定し、小売りできる仕組みを導入する。認定対象を広げることにはリスクもあるが、それ以上に中古車の品ぞろえを増やして新たな顧客を増やすメリットがあると考えた。加えて、こうした車両は従来、中古車オークション(AA)で売却するケースが多かった。AAへの流出を防いで販社内でも再販することにより、収益を上げられるチャンスの拡大にもつなげる。

部用品については、車両の購入後に機能追加などができるサービス「アップグレードセレクションズ・バイ・キントファクトリー」を22年に始めた。これまで徐々に取扱店舗を増やし、25年4月時点で26都道府県をカバーしていた。これも25年度内をめどに、全都道府県に広げる。既販車に乗るユーザーに最新の改良モデルの機能を取り入れられるメリットを提供し、販社の収益機会にもつなげる考えだ。

このほか、補修部品の価格転嫁も進める。物価高を背景にこれまでも段階的に料金を引き上げていたが、26年4月をめどに平均8%ほどの価格改定を実施するもよう。メーカーとして適正な価格をユーザーや市場に示し、販社の負担を軽減していく考えだ。

国内市場でも新たな課題への対応が次々に求められており、今後、トヨタや系列販社でもさらなる一手が必要になりそうだ。

■日産、次世代プロパイロットを量販モデルにも展開 国内に続き北米にも

日産自動車は、生成AI(人工知能)を使った運転支援技術「次世代プロパイロット」について、量販価格帯の車両を含めて幅広いモデルに搭載して世界展開することを明らかにした。AI新興の英ウェイブ・テクノロジーと協業し、すでに発表している国内市場に次いで、北米市場にも投入する。経営再建計画と並行して、差別化できる「指名買い」につながる先進技術の開発と量産を進め、競争力を強化していく。

10日、来日したウェイブのアレックス・ケンダルCEO(最高経営責任者)と日産のイヴァン・エスピノーサ社長が協業契約を結んだ。日産は「次世代プロパイロットシリーズ」として複数のグレードを用意する方針。価格帯などの詳細は明らかにしなかったが、エスピノーサ社長は「運転支援技術はぜいたく品であってはならない。手頃なモデルから『インフィニティ』まで、幅広い選択肢を用意する」と話した。

次世代プロパイロットは、ウェイブの生成AIを使った画像認識技術と日産の自動運転技術を組み合わせ、市街地でも車両の加減速やハンドル操作を支援する。2日には金子恭之国土交通相も東京都内で体験乗車し「熟練ドライバーを超えるように感じた。日本企業による自動運転車両の開発・普及を後押ししたい」と話していた。

英ウェイブも日産を皮切りに、世界各国の自動車メーカーに技術を提供することを目指す。ケンダルCEOは「(生成AIを使う)『自動運転2.0』は、より手頃に展開可能だ。27年度に向け、安全で、能力をしっかりと出せる量産車にしていく」と述べた。

先進運転支援の技術開発は、世界的に競争が激化しており、性能面での優位性や投資効率が事業上のポイントとなる。中国・比亞迪(BYD)も「天神之眼」システムを3グレードに用意して幅広いモデルに搭載する戦略を進めている。
(日刊自動車新聞2025年12月11日付け・1面)

■BYDジャパン、初のPHV「シーライオン6」発売 航続距離1,200km確保 価格は398万円から

BYDオートジャパン(東福寺厚樹社長、横浜市神奈川区)は1日、プラグインハイブリッド車(PHV)「シーライオン6」を発売した。BYD製PHVは日本で初めて。1,200キロメートルの航続距離などを武器に、電気自動車(EV)に不安を持つ幅広い顧客層の獲得を目指す。

シーライオン6はBYDの日本導入車としては5車種目。納車開始は前輪駆動車が2026年1月末、四輪駆動車が同年3月を見込む。11月1日から先行予約を受け付けており、11月末時点で約300台の予約を受けた。

プラグインハイブリッドシステム「DM-i」は、排気量1.5リットルのエンジンとモーター、搭載性に優れたブレードバッテリーなどで構成。市街地は主にモーター駆動で、補助的にエンジンを使う。

前輪駆動車はバッテリーだけで100キロメートル走行できる。最大6キロワットの普通充電と18キロワットの急速充電に対応。車外への給電を含めV2H(ビークル・トゥ・ホーム)にも対応する。

ボディーカラーは全4色をそろえ、インテリアは黒色を基調とし、アンビエントライトも組み込んだ。前輪駆動車は398万2千円、四輪駆動車は448万8千円(消費税込み)。東福寺社長は「シーライオン6を加えることで、EVとPHVで日本での乗用車ビジネスを加速していく」と語った。

(日刊自動車新聞2025年12月2日付け・1面)

検査員技能コンテストを開催

部 第2回 AA検査員技能コンテスト



左から敢闘賞 大矢直樹(JU三重)、準優勝 三仙和真(JU福井)、
奥村悦二会長(JU中部)、加藤勇東会長(JU愛知)、
優勝 宮本章吾(JU愛知)、敢闘賞 安田章了(JU岐阜)

JU中部(奥村悦二会長)は9月21日に、「JU中部 第2回 AA検査員技能コンテスト」をJU愛知AA会場で開催しました。

今大会ではJU中部7商組13名に加え、北海道ブロック優勝者の富田凌太さん(JU札幌)が特別参加しました。

コンテスト終了後、名古屋東急ホテルにて表彰式が催され、冒頭で奥村会長が「検査は、我々の業界での根幹となる業務だと思っています。これからもプライドを持って、この業務に取り組んでいただきたい。JUが検査におけるスタンダードポジションになれるよう、皆様方と研鑽して参ります」と挨拶をしました。

木場青年部会長のラスト青年部AA開催

JU鹿児島(新園康男会長)は令和7年3月7日に、木場青年部会長のラスト青年部AAを開催しました。

出品台数は青年部会担当記念オークションとして、34年ぶりの記録更新の1,016台で、成約率も66.9%の高成果を収めました。今回のオークションでは、九州・沖縄8県の青年部会長が全員集合したほか、各県青年部会メンバーが集結し、木場部会長のファイナルオークションを盛り上げました。

木場青年部会長の挨拶



JU釧路

協会設立55周年・組合創立45周年大感謝祭を開催

JU釧路(高橋成人会長)は9月6日に、『協会設立55周年・組合創立45周年大感謝祭』を開催しました。

大感謝祭にはJU釧路の会員、賛助会員、会員企業の社員・家族、日頃お付き合いのあるお客様、北海道内各JUの会長・役員、釧路地区の自動車関連団体役員が出席し、総勢約700名で節目の年を祝いました。蝦夷太鼓保存会の演奏で幕開けをし、高橋会長、釧路自動車販売店協会・釧路地方自動車整備振興会会長の坂根社長が挨拶をしました。鏡割りやマグロの解体ショー、抽選会等が行われ、大いに盛り上がりました。



高橋会長挨拶



鏡開き



マグロの解体ショー



蝦夷太鼓保存会で幕開け

JU岡山

クレジット サマーキャンペーン表彰式 & オータムキャンペーン決起大会を開催

JU岡山(中西信夫会長)は10月2日に、岡山県岡山市ピュアリティまきびにてJUクレジット サマーキャンペーン表彰式 & オータムキャンペーン決起大会を開催しました。

25名が参加し、サマーキャンペーンでは加盟店の皆さまの努力と工夫により、素晴らしい成果が多数生まれました。表彰式では、受賞者の皆さまへ金券等の副賞を贈呈し、会場は拍手と笑顔に包まれました。

また、表彰式前にはクレジット業務の最新情報を共有するなど、実務に役立つ講習会も実施しました。

オータムキャンペーンに向けては、決起大会で方針を共有し、チーム一丸となってスタートを切る熱い時間となりました。交流タイムでは加盟店同士のつながりも深まりました。



集合写真

令和7年度 第3回 検査委員会

日時：令和7年11月17日(月)

出席者：塚田会長・理事長

場所：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル

神保担当副理事長／小原委員長(岩手)／寺谷委員長代理(鳥取)／高崎副委員長(室蘭)／兵藤副委員長(群馬)／加藤副委員長(愛知)／宮谷副委員長(大阪)／満田副委員長(熊本)／鈴木JUC取締役副会長／原口JUC取締役専務執行役員／武藤専務理事／千原理事・事務局長／事務局

- 議事：①令和7年度検査委員会事業について
②検査員技能検定関連について
③車両見極め実車研修について
④JUC事業活動報告
⑤その他



令和7年度 第3回 指導環境委員会

日時：令和7年11月20日(木)

出席者：塚田会長・理事長

場所：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル

掛下担当副会長／中西委員長(岡山)／秋元委員長代理(栃木)／佐藤副委員長(旭川)／眞壁副委員長(宮城)／山下副委員長(福井)／大西副委員長(滋賀)／長野副委員長(大分)／原口JUC取締役専務執行役員／武藤専務理事／山内局次長／事務局

- 議事：①中古自動車販売士およびJUC適正販売店制度について
②令和8年度事業計画案及び予算案について
③その他



令和7年度 第3回 金融委員会

日 時：令和7年12月1日(月)

場 所：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル

- 議 事：①J Uクレジット・オータムキャンペーン状況報告について
②令和7年度J Uクレジット・J Uカード推進について
③令和8年度事業計画・8年度の取組みについて
④令和8年度J Uクレジット・スプリングキャンペーンについて
⑤その他

出席者：塚田会長・理事長

上田担当副会長／小松委員長(高知)／田中委員長代理(佐賀)／近藤副委員長(札幌)／千崎副委員長(千葉)／山本副委員長(石川)／稗田副委員長(大阪)／オリコ社／武藤専務理事／千原理事・事務局長／事務局



令和7年度 第4回 流通委員会

日 時：令和7年12月8日(月)

場 所：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル

- 議 事：①オールJ U全国リレーオークションについて
②J Uテントリキャンペーンについて
③各ブロックのAA近況、諸課題、将来展望等について
④J UC事業関連について
⑤令和8年度事業計画案および予算案について
⑥検査委員会関連報告について
⑦改正物流効率化法への対応について
⑧その他

出席者：塚田会長・理事長

奥村担当副理事長／橋本委員長(福島)／出口委員長代理(福岡)／高橋副委員長(函館)／吉沢副委員長(新潟)／萩原副委員長(静岡)／服部副委員長(奈良)／大和副委員長(山口)／小原検査委員長(岩手)／伊藤J UC代表取締役社長／鈴木J UC取締役副会長／原口J UC取締役専務執行役員／鈴木J UC取締役常務執行役員／武藤専務理事／千原理事・事務局長／事務局



2025年11月 カスタマー 問い合わせランキング

Vol.218

Powered by
リクルート自動車総研

カーセンサーnetにおけるカスタマーの車種別問い合わせ状況を、ランキングデータとして紹介しています。カスタマー(中古車購入検討者)が、今、どんなクルマを求めているのかの参考にご活用ください。

■カーセンサー月間問い合わせランキング

毎月の物件問い合わせ数のランキングをボディタイプ別に紹介します。今回は2025年11月のデータです。

第1位は前月に続きホンダ N-BOX(初代)

総合ランキング					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	ホンダ	N-BOX(初代)	→1位	201112	201708
2位	ホンダ	N-BOX(2代目)	→2位	201709	202309
3位	トヨタ	アルファード(3代目)	↑4位	201501	202305
4位	日産	セレナ(5代目)	↓3位	201608	202211
5位	トヨタ	ハイエースバン(現行型)	↑6位	200408	-
6位	トヨタ	プリウス(4代目)	↓5位	201512	202211
7位	トヨタ	アクア(初代)	→7位	201112	202106
8位	ダイハツ	タント(2代目)	↑11位	200712	201309
9位	トヨタ	プリウス(3代目)	↓8位	200905	201511
10位	日産	ノート(2代目)	↓9位	201209	202011

トップ2は前月と同じく、1位にホンダ N-BOX(初代)、2位にホンダ N-BOX(2代目)。3位は前月4位からトヨタ アルファード(3代目)がランクアップ。

第1位は前月に続きトヨタ クラウン(15代目)

セダン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	クラウン(15代目)	→1位	201806	202310
2位	レクサス	IS(現行型)	→2位	201305	-
3位	トヨタ	クラウンアスリート(4代目)	→3位	201212	201806
4位	日産	スカイライン(現行型)	↑6位	201311	-
5位	トヨタ	マークX(2代目)	↑7位	200910	201912

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ クラウン(15代目)、2位にレクサス IS(現行型)、3位にトヨタ クラウンアスリート(4代目)となった。

第1位は前月2位からトヨタ アルファード(3代目)がランクアップ

ミニバン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	アルファード(3代目)	↑2位	201501	202305
2位	日産	セレナ(5代目)	↓1位	201608	202211
3位	トヨタ	ハイエースバン(現行型)	→3位	200408	-
4位	日産	セレナ(4代目)	↑9位	201011	201607
5位	三菱	デリカD:5(現行型)	↓4位	200701	-

トップは前月2位からトヨタ アルファード(3代目)がランクアップ。2位は前月1位の日産 セレナ(5代目)。3位は前月と同じくトヨタ ハイエースバン(現行型)。

第1位は前月に続きトヨタ カローラツーリング(現行型)

ステーションワゴン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	カローラツーリング(現行型)	→1位	201909	-
2位	スバル	レヴォーグ(初代)	↑3位	201406	202009
3位	ホンダ	シャトル(初代)	↓2位	201505	202211
4位	トヨタ	プロボックスバン(現行型)	→4位	200207	-
5位	スバル	レヴォーグ(現行型)	↑6位	202010	-

トップは前月と同じくトヨタ カローラツーリング(現行型)。2位は前月3位からスバル レヴォーグ(初代)がランクアップ。3位は前月2位のホンダ シャトル(初代)。

第1位は前月に続きトヨタ ハリアー(現行型)

クロカン/SUV					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	ハリアー(現行型)	→1位	202006	-
2位	ホンダ	ヴェゼル(現行型)	→2位	202104	-
3位	マツダ	CX-5(現行型)	→3位	201612	-
4位	トヨタ	ヤリスクロス(現行型)	→4位	202008	-
5位	日産	エクストレイル(3代目)	→5位	201312	202206

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ ハリアー(現行型)、2位にホンダ ヴェゼル(現行型)、3位にマツダ CX-5(現行型)となった。

第1位は前月に続きトヨタ プリウス(4代目)

ハッチバック					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	プリウス(4代目)	→1位	201512	202211
2位	トヨタ	アクア(初代)	→2位	201112	202106
3位	トヨタ	プリウス(3代目)	→3位	200905	201511
4位	日産	ノート(2代目)	→4位	201209	202011
5位	トヨタ	ルーミー(現行型)	↑6位	201611	-

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ プリウス(4代目)、2位にトヨタ アクア(初代)、3位にトヨタ プリウス(3代目)となった。

第1位は前月に続きホンダ N-BOX(初代)

軽自動車					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	ホンダ	N-BOX(初代)	→1位	201112	201708
2位	ホンダ	N-BOX(2代目)	→2位	201709	202309
3位	ダイハツ	タント(2代目)	→3位	200712	201309
4位	スズキ	ハスラー(現行型)	↑6位	201912	-
5位	スズキ	ハスラー(初代)	↓4位	201401	201911

トップ3は前月と同じく、1位にホンダ N-BOX(初代)、2位にホンダ N-BOX(2代目)、3位にダイハツ タント(2代目)となった。

第1位は前月に続きトヨタ 86(初代)

クーペ					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	86(初代)	→1位	201204	202110
2位	ホンダ	CR-Z(絶版)	↑4位	201002	201701
3位	トヨタ	GR86(現行型)	↓2位	202110	-
4位	日産	フェアレディZ(現行型)	↑8位	202208	-
5位	スバル	BRZ(初代)	↓3位	201203	202106

トップは前月と同じくトヨタ 86(初代)。2位は前月4位からホンダ CR-Z(絶版)がランクアップ。3位は前月2位のトヨタ GR86(現行型)。

第1位は前月に続きマツダ ロードスター(現行型)

オープン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	マツダ	ロードスター(現行型)	→1位	201505	-
2位	マツダ	ロードスターRF(現行型)	→2位	201612	-
3位	マツダ	ロードスター(3代目)	→3位	200508	201504
4位	ホンダ	S2000(絶版)	→4位	199904	200906
5位	マツダ	ロードスター(2代目)	↑7位	199801	200507

トップ3は前月と同じく、1位にマツダ ロードスター(現行型)、2位にマツダ ロードスターRF(現行型)、3位にマツダ ロードスター(3代目)となった。

2025年11月オークション結果

会場	開催数	出品台数		成約台数		成約率 (%)	成約金額(千円)		平均単価(千円)
		合計台数(台)	1回平均	合計台数(台)	1回平均		金額合計	1回平均	
札幌	4	3,037	759	2,323	581	76.5%	819,824	204,956	353
帯広	4	364	91	206	52	56.6%	90,285	22,571	438
釧路	4	306	77	146	37	47.7%	104,417	26,104	715
函館	4	591	148	344	86	58.2%	175,974	43,994	512
室蘭	4	146	37	72	18	49.3%	25,578	6,395	355
旭川	4	232	58	150	38	64.7%	62,624	15,656	417
北見	4	260	65	149	37	57.3%	79,187	19,797	531
北海道	28	4,936	176	3,390	121	68.7%	1,357,889	48,496	401
青森	2	501	251	367	184	73.3%	103,217	51,609	281
岩手(※)	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
秋田	4	671	168	579	145	86.3%	95,388	23,847	165
宮城	4	5,136	1,284	3,868	967	75.3%	1,426,147	356,537	369
山形	2	380	190	240	120	63.2%	75,603	37,802	315
福島	4	4,916	1,229	2,770	693	56.3%	1,017,290	254,323	367
東北	16	11,604	725	7,824	489	67.4%	2,717,645	169,853	347
栃木	4	3,240	810	1,270	318	39.2%	359,622	89,906	283
新潟	4	3,721	930	2,810	703	75.5%	833,151	208,288	296
群馬	4	3,815	954	2,190	548	57.4%	870,029	217,507	397
茨城	4	1,896	474	1,067	267	56.3%	422,601	105,650	396
千葉	4	5,483	1,371	3,691	923	67.3%	2,088,174	522,044	566
埼玉	4	5,803	1,451	3,408	852	58.7%	1,839,006	459,752	540
東京	4	4,821	1,205	2,576	644	53.4%	1,226,160	306,540	476
神奈川	4	2,230	558	1,637	409	73.4%	799,806	199,952	489
山梨	5	245	49	122	24	49.8%	35,610	7,122	292
長野	4	1,912	478	559	140	29.2%	151,825	37,956	272
関東甲信越	41	33,166	809	19,330	471	58.3%	8,625,984	210,390	446
静岡	4	2,415	604	1,417	354	58.7%	406,552	101,638	287
愛知	4	14,373	3,593	11,480	2,870	79.9%	5,720,560	1,430,140	498
岐阜	5	24,101	4,820	11,941	2,388	49.5%	8,716,120	1,743,224	730
三重	4	3,200	800	1,317	329	41.2%	667,488	166,872	507
富山	4	1,411	353	774	194	54.9%	284,590	71,148	368
石川	4	1,218	305	693	173	56.9%	278,488	69,622	402
福井	2	407	204	190	95	46.7%	41,056	20,528	216
中部	27	47,125	1,745	27,812	1,030	59.0%	16,114,854	596,846	579
滋賀	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
京都	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
奈良	5	1,380	276	871	174	63.1%	411,711	82,342	473
大阪	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
兵庫(※)	5	386	77	34	7	8.8%	51,569	10,314	1,517
近畿	5	1,380	276	871	174	63.1%	411,711	82,342	473
岡山(※)	1	444	444	224	224	50.5%	105,089	105,089	469
鳥取	1	298	298	253	253	84.9%	70,410	70,410	278
島根	1	263	263	220	220	83.7%	49,675	49,675	226
広島	4	2,481	620	1,357	339	54.7%	533,730	133,433	393
山口	4	1,169	292	456	114	39.0%	248,785	62,196	546
香川	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
愛媛	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
徳島	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
高知	1	390	390	177	177	45.4%	60,115	60,115	340
中四国	12	5,045	420	2,687	224	53.3%	1,067,804	88,984	397
福岡	4	6,166	1,542	2,859	715	46.4%	928,543	232,136	325
佐賀	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
長崎	1	653	653	486	486	74.4%	74,590	74,590	153
大分	2	648	324	550	275	84.9%	71,115	35,558	129
熊本	3	833	278	482	161	57.9%	117,353	39,118	243
宮崎	3	288	96	229	76	79.5%	53,677	17,892	234
鹿児島	4	1,737	434	942	236	54.2%	250,745	62,686	266
沖縄	4	1,633	408	1,121	280	68.6%	220,636	55,159	197
九州	21	11,958	569	6,669	318	55.8%	1,716,659	81,746	257
全国計	150	115,214	768	68,583	457	59.5%	32,012,546	213,417	467

※ J U岩手、J U岡山の実績は、提携オークションへの協力台数。J U兵庫の実績はJ U岐阜に含まれるため、近畿計及び全国計から除外。

2025年10月の都道府県別中古車登録・届出台数

都道府県	登録自動車				軽自動車	登録自動車 軽自動車 合計	
	新規	移転	変更	合計			
北海道	札幌	2,693	5,958	662	9,313	7,547	16,860
	函館	319	807	67	1,193	1,239	2,432
	旭川	509	1,624	192	2,325	1,551	3,876
	室蘭	503	1,076	131	1,710	809	2,519
	釧路	312	789	88	1,189	871	2,060
	帯広	369	866	81	1,316	820	2,136
	北見	228	729	122	1,079	744	1,823
計	4,933	11,849	1,343	18,125	13,581	31,706	
東北	青森	911	2,417	191	3,519	3,592	7,111
	岩手	1,223	2,261	255	3,739	3,312	7,051
	宮城	2,279	4,187	354	6,820	5,157	11,977
	秋田	806	1,615	127	2,548	3,117	5,665
	山形	1,037	1,824	173	3,034	3,295	6,329
	福島	1,832	4,048	370	6,250	4,201	10,451
	計	8,088	16,352	1,470	25,910	22,674	48,584
関東	茨城	3,296	8,051	622	11,969	7,171	19,140
	栃木	2,160	5,025	370	7,555	4,684	12,239
	群馬	1,916	5,319	403	7,638	4,674	12,312
	埼玉	4,988	12,223	867	18,078	9,345	27,423
	千葉	5,190	11,801	749	17,740	8,256	25,996
	東京	5,704	13,813	1,166	20,683	5,045	25,728
	神奈川	5,060	12,849	934	18,843	8,306	27,149
	山梨	765	1,833	131	2,729	2,218	4,947
計	29,079	70,914	5,242	105,235	49,699	154,934	
北陸信越	新潟	1,880	4,307	417	6,604	7,322	13,926
	富山	930	1,936	336	3,202	3,638	6,840
	石川	1,085	2,093	201	3,379	2,886	6,265
	長野	1,558	4,449	402	6,409	6,183	12,592
	計	5,453	12,785	1,356	19,594	20,029	39,623
中部	福井	648	1,120	164	1,932	2,368	4,300
	岐阜	2,046	4,152	314	6,512	6,337	12,849
	静岡	2,975	6,667	466	10,108	9,869	19,977
	愛知	6,730	15,297	1,148	23,175	12,688	35,863
	三重	1,611	4,069	171	5,851	4,423	10,274
	計	14,010	31,305	2,263	47,578	35,685	83,263
近畿	滋賀	1,026	2,287	158	3,471	3,836	7,307
	京都	1,387	3,005	242	4,634	4,246	8,880
	大阪	4,723	9,760	1,193	15,676	7,713	23,389
	奈良	827	1,865	92	2,784	2,407	5,191
	和歌山	562	1,323	91	1,976	2,744	4,720
	兵庫	3,611	8,516	526	12,653	7,908	20,561
計	12,136	26,756	2,302	41,194	28,854	70,048	
中国	鳥取	408	814	84	1,306	1,841	3,147
	島根	445	903	145	1,493	2,163	3,656
	岡山	1,458	3,395	330	5,183	5,276	10,459
	広島	1,584	3,981	583	6,148	7,117	13,265
	山口	878	2,196	216	3,290	3,833	7,123
	計	4,773	11,289	1,358	17,420	20,230	37,650
四国	徳島	498	1,166	111	1,775	2,071	3,846
	香川	802	1,604	119	2,525	2,389	4,914
	愛媛	733	1,732	166	2,631	3,625	6,256
	高知	361	852	49	1,262	2,112	3,374
	計	2,394	5,354	445	8,193	10,197	18,390
九州	福岡	3,717	10,025	2,044	15,786	10,192	25,978
	佐賀	619	1,609	184	2,412	2,252	4,664
	長崎	683	1,802	189	2,674	3,124	5,798
	熊本	1,679	3,791	255	5,725	5,637	11,362
	大分	738	2,035	144	2,917	3,708	6,625
	宮崎	741	1,748	171	2,660	3,821	6,481
	鹿児島	1,107	2,559	420	4,086	5,776	9,862
計	9,284	23,569	3,407	36,260	34,510	70,770	
沖縄	2,274	3,638	290	6,202	7,745	13,947	
全国	92,424	213,811	19,476	325,711	243,204	568,915	

11月の新車・中古車登録台数

新車登録台数（ナンバーベース）

（単位：台、％）

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計(C)	前年累計(D)	C/D%
普通乗用車	132,488	158,301	83.7	1,582,683	1,622,677	97.5
小型乗用車	69,511	64,123	108.4	769,212	715,790	107.5
小計	201,999	222,424	90.8	2,351,895	2,338,467	100.6
普通貨物車	12,027	12,195	98.6	128,628	133,873	96.1
小型貨物車	20,022	14,532	137.8	196,873	171,175	115.0
小計	32,049	26,727	119.9	325,501	305,048	106.7
バス	667	691	96.5	9,112	9,365	97.3
合計	234,715	249,842	93.9	2,686,508	2,652,880	101.3

中古車登録台数

（単位：台、％）

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計(C)	前年累計(D)	C/D%
普通乗用車	145,834	154,774	94.2	1,815,677	1,819,716	99.8
小型乗用車	82,403	96,558	85.3	1,087,031	1,127,067	96.4
小計	228,237	251,332	90.8	2,902,708	2,946,783	98.5
普通貨物車	12,910	13,776	93.7	156,885	153,312	102.3
小型貨物車	15,718	16,895	93.0	189,657	190,476	99.6
小計	28,628	30,671	93.3	346,542	343,788	100.8
バス	714	902	79.2	12,028	10,182	118.1
その他	6,602	6,391	103.3	72,977	71,213	102.5
総合計	264,181	289,296	91.3	3,334,255	3,371,966	98.9

（注）「その他」には、特殊車・特種車等の車種を含む。

主要都道府県別 中古車新規・移転・変更登録台数

（単位：台、％）

主な県	普通貨物	前年比	バス	普通乗用	前年比	小型貨物	前年比	小型乗用	前年比	総合計	前年比
北海道	1,110	82.1	78	7,546	91.7	976	86.5	4,651	82.7	15,003	87.3
岩手	132	81.5	6	1,404	83.5	210	100.0	1,064	80.7	2,920	84.1
宮城	256	89.2	16	2,825	95.1	304	81.3	1,914	87.4	5,447	90.7
福島	214	89.5	9	2,671	92.4	287	92.0	1,718	83.5	5,014	89.4
茨城	815	109.1	26	5,244	98.7	611	81.9	3,276	85.7	10,259	94.1
埼玉	704	95.8	30	8,132	98.0	850	85.8	4,358	83.8	14,446	92.5
千葉	740	94.1	57	8,195	94.4	886	100.9	4,322	86.6	14,530	92.6
東京	440	86.8	48	10,682	92.8	897	97.4	4,131	85.0	16,575	91.1
神奈川	536	82.0	16	9,183	95.2	803	91.7	4,258	85.2	15,076	91.4
新潟	203	80.2	18	2,609	100.0	355	97.5	1,788	82.5	5,140	93.1
静岡	309	75.0	14	4,526	91.8	496	96.1	2,770	86.8	8,256	89.3
愛知	892	100.1	21	11,052	98.1	1,072	85.4	5,626	87.5	18,969	94.0
大阪	519	87.1	33	7,295	93.6	933	91.5	3,728	87.4	12,772	90.9
兵庫	395	100.5	22	6,103	88.8	482	91.6	2,788	84.6	9,995	88.4
広島	186	82.3	13	2,752	93.3	272	99.3	1,625	76.9	4,947	86.7
香川	74	71.2	3	1,065	89.9	116	81.7	617	88.5	1,908	87.4
福岡	571	104.6	85	7,178	98.0	706	101.9	4,198	91.6	13,017	96.7
その他	4,814	98.5	219	47,372	93.5	5,462	96.3	29,571	85.1	89,907	91.3
全国計	12,910	93.7	714	145,834	94.2	15,718	93.0	82,403	85.3	264,181	91.3

（注）総合計には、すべての車種を含む。その他は表示以外の県の合計。

月刊「JU中販連」 令和8年1月号 第55巻 第1号 通巻610号

令和7年12月31日発行（毎月1回月末発行）

定価300円 送料80円

発行 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会（JU中販連）

（会員あて1部の購読料は会費に含まれます）

編集人 武藤 孝弘

東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル10階（〒151-0053）電話03(5333)5881